

三二博物館報告  
静岡県の化石展と  
静岡市科学館企画展への展示協力  
佐々木彰央

静岡の化石展

静岡県の化石展を、静岡県立中央図書館（2014年10月1日～31日）と御殿場樹空の森（2015年1月31日～3月1日）で開催しました。

本企画展は、これまでに県内各地で発見された貴重な化石を、実物標本とともに解説パネルや写真で紹介したものです。展示した標本は、県内産のアンモナイトや深海生物の生痕化石、サメの歯など県内各地のさまざまな時代から産出したいろいろな化石です。また、県内から最近、新たに発見された世界的にも珍しい魚類化石やほぼ全身骨格のそろったシカの化石なども展示しました。また、後半の展示では、「化石がとれる地層」や「静岡県で恐竜化石は発見されるのか？」についてなども紹介を行いました。

展示期間中は多くの来場者が訪れ、ふだん見ることのできない化石に魅了されている様子で



熱心に見学する来館者（中央図書館）

した。

この化石展は、浜松科学館でも3月14日～31日にかけて、再び展示を行います。まだ見ていない人やもう一度見たい人は、ぜひ浜松科学館にご来場ください。

静岡市科学館企画展の展示協力

1月10日～2月22日に、静岡科学館る・く・るで、しずおか自然体験ミュージアム（静岡科学館主催）が開催されました。この企画展のコンセプトは静岡県の山・森・川・海・温泉・特産物などの自然の魅力を掘り起し、「みる・きく・さわる」また「味わう」といった体験を中心に紹介する企画展です。

当NPOでは活用事業の一環として、この企画展に協力を行いました。協力内容は主に、県内で捕獲されたイノシシ、ニホンジカなどの毛皮標本の貸出と静岡の化石産地図の作成です。

当日、子どもたちは毛皮標本に直接触れ、毛の質や、標本の大きさ、臭いに驚いている様子でした。当NPOの展示以外に、富士山山頂の



「しずおか自然体験ミュージアム」の展示

気温が体感できる装置、深海魚の水槽展示、静岡県特産のお茶やワサビの展示などが催され、多くの見学者が訪れていました。